

老朽化した排水機場を修繕し、地域の浸水被害を軽減する

【対策】79-1 河川管理施設の老朽化対策

対策概要: 「予防保全型の維持管理」への転換に向けて、要対策施設等の対応及びライフサイクルコストの縮減につながる取組を推進するため、老朽化した河川管理施設の修繕・更新を実施する。

府省庁名: 国土交通省

【事例】^{かけはしがわ} 梯川河川維持修繕事業

■ 実施主体: 国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

■ 実施場所: 石川県小松市

■ 事業概要: 老朽化した^{まえかわ}前川排水機場の原動機を分解整備。

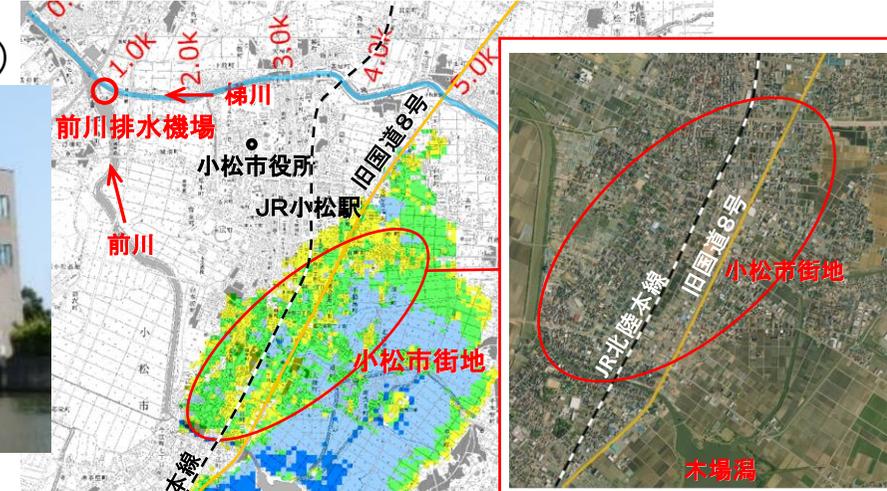
■ 事業費: 1.9億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.9億円)

■ 効果: 令和4年8月の大雨(観測史上1位の水位)では、前川排水機場の稼働により、延べ65時間、約1,100万³mの排水を行い、物流を支えるJR北陸本線や旧国道8号、人口・資産が集中する小松市街地の浸水被害を軽減した。

位置図



<令和4年8月出水で前川排水機場が稼働しなかった場合の被害想定>



原動機内部の修繕内容



ダクトからの排気漏れによる損傷確認状況

原動機内部の断熱材の損傷状況

年点検の結果、原動機内部のダクトや断熱材の損傷が判明したため、原動機を分解し、損傷部分の修繕を実施した。

前川排水機場が稼働しなかった場合の被害想定

総被害額(億円)	1,547
浸水想定範囲(ha)	1,100
被災人口(人)	16,134
床上浸水戸数(戸)	5,168
床下浸水戸数(戸)	1,032